

キャリアを意識できる環境や機会を生み出しています。また、経済産業省では、社会人基礎力として『前に踏み出す力』『考え抜く力』『チームで働く力』の三つを柱に、社会が求める力を獲得して活躍できる人材の育成を目的としたサポートをしています。

（２）職業を選択する

私たちは、それぞれ職業や仕事を選ぶ際に自分なりの大切にしたい基準というものを持っています。これは、就職活動などの際に選社基準にしてしまいがちな会社の規模・知名度・勤務地・給与などといったイメージや労働条件ではなく、働くうえで絶対に譲れない価値観をアンカー（錨）として持っています。この価値観を感じることができそうなフィールドを就職活動や転職活動によって選択して、キャリアを作り続けていく舞台にするといわれています。

アメリカの社会心理学者であるエドガー・H・シャインが、その譲れない価値観を八つにカテゴライズし、キャリア・アンカー^{*1}という概念にまとめて提唱しました。キャリア・アンカーとは「本当の自己を象徴する能力・動機・価値観によって形成されたもの」だと提唱しています。

このように、それぞれの譲れない価値観を大切に選択した分野で仕事という経験を継続させながら、知識やスキルを高め社会人として必要な能力を向上させていくことがキャリアであると認識することが重要です。その意識を持って仕事に取り組むことこそが社会人としての自覚だといえます。